

— 大会プログラム —

11月26日 (木)		
評議委員会・各種委員会 11月26日 (木) 17:30-19:30 / Committee Meeting 26 November (Thu) 17:30-19:30		
企画委員会	13:00-14:30	研究棟 AB会議室
評議委員会	14:30-18:00	研究棟 AB会議室
保全委員会	18:30-20:00	南校舎7F 475教室

11月27日 (金) / November 27 (Fri)		
口頭発表 9:00-18:30, 南校舎5Fホール / Oral presentation 9:00-18:30, 5F Hall, South School Building		

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
座長 (Chair): 波利井佐紀			
OR 1-1	9:00-9:15	サンゴ褐虫藻の細胞内共生初期の分子応答から共生成立の謎を解く	○湯山 育子(国立遺伝学研究所・生命情報研究センター), 池尾 一穂(国立遺伝学研究所・生命情報研究センター)
OR 1-2	9:15-9:30	共生する褐虫藻のタイプはサンゴ幼体の初期生残に影響するか?	○山下 洋(水研七西海水研), 鈴木 豪(水研七西海水研), 藤倉 佑治(水研七西海水研), 新里 宙也(OIST), 神保 充(北里大海洋)
OR 1-3	9:30-9:45	稚サンゴの遺伝的差異と高水温下における共生褐虫藻の変化	○依藤 実樹子(琉球大・熱生研), 波利井 佐紀(琉球大・熱生研), 中村 良太(水産土木センター), 内田 智(水産庁), 中村 浩介(水産庁)
OR 1-4	9:45-10:00	プラスラ存在下での褐虫藻の行動とレクチンの関与	○神保 充(北里大・海洋), 山田 龍太郎(北里大・海洋), 國谷 奈美(北里大・海洋), 鈴木 豪(水産総合研究センター西海区研究所), 山下 洋(水産総合研究センター西海区研究所), 安元 剛(北里大・海洋), 渡部 終五(北里大・海洋)
OR 1-5	10:00-10:15	<i>Acropora tenuis</i> レクチンの環境中での褐虫藻誘引活性	○竹内 亮太(北里大・海洋), 國谷 奈美(北里大・海洋), 神保 充(北里大・海洋)
<b>休憩 10:15-10:30 / Break 10:15-10:30</b>			

座長 (Chair): Sylvain Agostini			
OR 2-1	10:30-10:45	<i>Acropora tenuis</i> モニタリング群体における共生シアノバクテリアについて	○須田 彰一郎(琉大・理), 伊藤 通浩(早大・ナノ理工), 丸山 徹(早大・ナノ理工), 岡田 直子(早大・ナノ理工), 藤村 弘行(琉大・理), 中野 義勝(琉大・熱生研), 竹山 春子(早大・先進理工)
OR 2-2	10:45-11:00	<i>Acropora tenuis</i> 共生細菌叢: 季節変動と地点別・群体別傾向	○伊藤 通浩(早大・ナノ・ライフ), 丸山 徹(早大・先進理工), 岡田 直子(早大・ナノ・ライフ), 新里 宙也(OIST・マリネノミックス), 座安 佑奈(OIST・マリネノミックス), 藤村 弘行(琉大・理), 中野 義勝(琉大・熱生研), 須田 彰一郎(琉大・理), 竹山 春子(早大・ナノ・ライフ), 早大・先進理工)
OR 2-3	11:00-11:15	サンゴ粘液は微生物食物連鎖の炭素フローを促進する	○中嶋 亮太(JAMSTEC), 田中 泰章(ブルネイ大), 栗原 晴子(琉大・理)
OR 2-4	11:15-11:30	慶良間諸島阿嘉島におけるBlack Band Diseaseの発生状況	○和田 直久(日大・生物資源), 高瀬 一生(日大・生物資源), 阿部 夏実(日大・生物資源), 豊泉 恭平(日大・生物資源), 池田 昌平(日大・生物資源), 占部 雄太(日大・生物資源), 松井 妙子(日大・生物資源), 荒 功一(日大・生物資源), 間野 伸宏(日大・生物資源)
OR 2-5	11:30-11:45	ブラックバンド病後の骨格に残る蛍光性日輪の解明	山城 秀之(琉球大・熱生研・瀬底研究施設)
OR 2-6	11:45-12:00	Pink syndrome effects on <i>Porites</i> corals and the relationship with environmental conditions	○Mathinee Yucharoen (Shizuoka Univ.), Beatriz E. Casareto (Shizuoka Univ.), Toru Koike (Shizuoka Univ.), Toshiyuki Suzuki (Shizuoka Univ.), Yoshimi Suzuki (Shizuoka Univ.), Koichi Yoshinaga (Shizuoka Univ.), Aussanee Meekaew (Shizuoka Univ.)
<b>昼休み 12:00-13:15 / Lunch Break 12:00-13:15</b>			

座長 (Chair): 中村 崇			
OR 3-1	13:15-13:30	有藻性イシサンゴ群体および胚における <i>Toll</i> 様受容体タンパク質の発現	○久保田 賢(高知大学黒潮圏科学部門), 関田 諭子(高知大学黒潮圏科学部門), 目崎 拓真(黒潮生物研), 田口 尚弘(高知大学黒潮圏科学部門), 奥田 一雄(高知大学黒潮圏科学部門), 小西 裕子(高知大学総合研究センター), 富永 明(高知大学黒潮圏科学部門)
OR 3-2	13:30-13:45	Photo-acclimation of mesophotic <i>Seriatopora hystrix</i> under different light conditions	○Rian Prasatia (Univ. of the Ryukyus), Frederic Sinniger (Univ. of the Ryukyus), Takashi Nakamura (Univ. of the Ryukyus), JST/JICA SATREPS), Yeong S. Yuen (University of the Ryukyus, JST/JICA SATREPS), Saki Harii (Univ. of the Ryukyus)
OR 3-3	13:45-14:00	Investigation of typhoon-driven temperature downshift and recovery trends in Shiraho Reef and Sekisei Lagoon, Okinawa, Japan	○Lawrence Patrick C. BERNARDO (Tokyo Institute Of Technology), Takashi NAKAMURA (Tokyo Institute Of Technology), Atsushi WATANABE (Tokyo Institute Of Technology), Kazuo NADAOKA (Tokyo Institute Of Technology)

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
OR 3-4	14:00-14:15	石西礁湖および周辺海域のサンゴ被度変遷の傾向分類と要因検討～16年間のモニタリングデータに基づく解析～	○向 草世香(東京工業大学・院・情報理工), 斎藤 衛(東京工業大学・院・情報理工), 中村 隆志(東京工業大学・院・情報理工), 灘岡 和夫(東京工業大学・院・情報理工)
<b>休憩 14:15-14:30 / Break 14:15-14:30</b>			
座長 (Chair): 藤井琢磨			
OR 4-1	14:30-14:45	養殖サンゴの生体及び死滅体への蠕集動物とその生態学的意義	○久保 弘文(沖縄県水産海洋技術センター), 謝名堂 聡(沖縄県自然保護・緑化推進課), 比嘉 義規(恩納村漁協)
OR 4-2	14:45-15:00	琉球列島の海底洞窟に生息する無脊椎動物相	○藤田 喜久(沖縄県立芸術大学・全教セ), 成瀬 貫(琉大・熱生研・西表研究施設), 伊勢 優史(名大・理・臨海), 水山 克(琉大・院・理工), 川端 潮音(琉大・海洋自然), 久保 弘文(沖縄県水産海洋技術センター)
OR 4-3	15:00-15:15	天皇海山海域における冷水性サンゴ類のVME指標種としての有効性	○宮本 麻衣(研) 水研セ 国際水研), 林原 毅(研) 水研セ 国際水研), 茅根 創(東大院理), 山本 将史(東大院理), 清田 雅史(研) 水研セ 国際水研)
OR 4-4	15:15-15:30	オニヒトデにおける精子濃度の受精成功率への影響の可能性	○東村 幸浩(宮崎大・農), 湯浅 英知(宮崎大・農), 長井 敏(中央水研), 岡地 賢(コーラルクエスト), 安田 仁奈(宮崎大・IT機構)
OR 4-5	15:30-15:45	オニヒトデの生活史のモデル化と発生予測の試み	○中村 隆志(東工大), Lawrence Patrick C. BERNARDO(東工大), 天野 慎也(東工大), 渡邊 敦(東工大), Ratino SITH(東工大), 向 草世香(東工大), 福岡 弘紀(西海区水研), 鈴木 豪(西海区水研), 安田 仁奈(宮崎大), 長井 敏(中央水研), 灘岡 和夫(東工大)
<b>休憩 15:45-16:15 (30分) / Break 15:45-16:15 (30 minutes)</b>			
座長 (Chair): 山本将史			
OR 5-1	16:15-16:30	大気二酸化炭素下の海水の本性に対応したサンゴ礁:骨格形成の効率化とストレス	○市川 和彦(北大・地球環境科学), 服田 昌之(お茶大・自然科学)
OR 5-2	16:30-16:45	Experimental warming and elevated pCO2 synergistically impact on sediment primary production of shallow marine ecosystem of Okinawa, Japan.	○Rumana Sultana (Shizuoka Univ.), Beatriz E. Casareto (Shizuoka Univ.), Rumi Sohrin (Shizuoka Univ.), Toshiyuki Suzuki (Shizuoka Univ.), Hiroyuki Fujimura (Univ. of the Ryukyus), Yoshimi Suzuki (Shizuoka Univ.)
OR 5-3	16:45-17:00	低Mg/Ca環境下で生成するサンゴ骨格の温度依存性	○樋口 富彦(東京大・大気海洋研), 白井 厚太郎(東京大・大気海洋研), 湯山 育子(国立遺伝研), 目崎 拓真(黒潮生物研)
OR 5-4	17:00-17:15	造礁サンゴの窒素代謝と骨格形成の深度変化	○山崎 敦子(東大・大海研, 喜界研), Carrie Manfrino(CCMI), Olivia Reda(Indiana University), 角皆 潤(名大・院環境), 佐野 有司(東大・大海研), 渡邊 剛(北大・院理, 喜界研)
OR 5-5	17:15-17:30	低濃度レベルのイルガロール1051 に曝露したヒロハサボテングサの体色 (RGB 値) の長期変動	○竹内 一郎(愛媛大学農学部, 愛媛大学農学部附属環境先端技術センター), 平山 景太(愛媛大学農学部), 高山 弘太郎(愛媛大学農学部, 愛媛大学農学部附属環境先端技術センター), 井口 亮(国立沖縄工業高等専門学校)
<b>休憩 17:30-17:45 (15分) / Break 17:30-17:45 (15 minutes)</b>			
座長 (Chair): 佐藤崇範			
OR 6-1	17:45-18:00	サンゴ成長における電場の効果	○木原 一禎, 細川 恭史(エムエムブリッジ株), 山本 悟(日本防蝕工業株), 鯉淵 幸生(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 近藤 康文(株シーピーファーム), 山本 秀一(株エコー)
OR 6-2	18:00-18:15	竹富南航路における群集性サンゴの移植	濱口 信彦(内閣府沖縄総合事務局石垣港湾事務所), 奥那嶺 和史(内閣府沖縄総合事務局石垣港湾事務所), 島袋 和男(内閣府沖縄総合事務局石垣港湾事務所), 富田 和之(内閣府沖縄総合事務局石垣港湾事務所), ○毛塚 大輔(いであ株), 田端 重夫(いであ株), 中西 喜栄(いであ株), 石森 博雄(いであ株), 新宅 航平(いであ株)
OR 6-3	18:15-18:30	宮古島スマートコントロール実証2015	○猪澤 也寸志(エコガイドカフェ), Chan Chin-Dong(エコガイドカフェ), 大塚 英貴(エコガイドカフェ), Shi Minghui(北大・環境科学院), 澤田 恵梨子(北大・環境科学院), Sun Jaxi(東京コミュニケーションアート専門学校)
<b>休憩 18:30-18:45 / Break 18:30-18:45</b>			
<b>自由集会18:45-20:45 / Free talk session 18:45-20:45</b>			
自由集会① 南校舎7F473	18:45-20:45	若手研究者最前線	中村隆志(東工大), 藤井琢磨(鹿大), 湯山育子(遺伝研)
自由集会② 南校舎7F475	18:45-20:45	蛍光撮影技術を生かした海洋生物イメージングとモニタリング-III	古島靖夫・丸山 正(海洋研究開発機構), 篠野雅彦(海上技術安全研究所), 鈴木貞男(O.R.E)
自由集会③ 南校舎7F476	18:45-20:45	サンゴ礁におけるフィールドワークの活性化と安全確保の両立のために(調査安全委員会主催)	中井達夫

**11月28日 (土) / November 28 (Sat)**

**ポスター発表・サンゴ礁保全ポスター, 南校舎 5F 456・457教室 / Poster presentation, Room 456・457, 5F, South School Building**

奇数番号 / odd number	9:00-11:00	南校舎5F 456・457
スピードトーク(奇数) / speed talk (odd)	9:45-10:15	南校舎5F 451(若手優秀ポスター賞エントリー者のうち希望者対象)
偶数番号 / even number	11:00-13:00	南校舎5F 456・457
スピードトーク(偶数) / speed talk (even)	11:45-12:15	南校舎5F 451(若手優秀ポスター賞エントリー者のうち希望者対象)

**昼休み 13:00-14:00 / Lunch Break 13:00-14:00**

**口頭発表 14:00-15:15, 南校舎5Fホール / Oral presentation 14:00-15:15, 5F Hall, South School Building**

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者(所属) Authors (Affiliation)
座長 (Chair): 鈴木倫太郎			
OR 7-1	14:00-14:15	海洋保護区・水産資源管理の評価	○鹿熊 信一郎(沖縄県海洋深層水研究所)
OR 7-2	14:15-14:30	ラムサール条約と和歌山県の経済活性化ー沖縄県と比較してー	○齊藤 久美子(和歌山大学経済学部)
OR 7-3	14:30-14:45	生物多様性と地域経済を考慮した亜熱帯島嶼環境保全: 沖縄県久米島における赤土流出対策	○山野 博哉(国立環境研), 佐竹 潔(国立環境研), 井上 智美(国立環境研), 角谷 拓(国立環境研), 林 誠二(国立環境研), 金城 孝一(沖縄県衛環研), 中島 大介(国立環境研), 小熊 宏之(国立環境研), 石黒 聡士(国立環境研), 岡川 梓(国立環境研), 須賀 伸介(国立環境研), 堀江 哲也(長崎大), 野原 克仁(北星学園大), 深山 直子(東京経済大), 日引 聡(東北大)
OR 7-4	14:45-15:00	地域コミュニティはいかにして陸域対策に取り組んできたかーオーナーシップの醸成と効力感を生み出す仕組みー	○上村 真仁(WWF ジャパン)
OR 7-5	15:00-15:15	オープンアクセス沿岸資源に対する新たな視点の提示: 民族的多様性の高い沿岸社会における資源ガバナンス論に向けて	○杉本 あおい(東大院農・国際水産開発学研究室), 八木 信行(東大院農・国際水産開発学研究室), 黒倉 寿(東大院農・国際水産開発学研究室)

**休憩 15:15-15:30 / Break 15:15-15:30**

**総会・受賞講演 15:30-18:00 南校舎5Fホール / Plenary session & Prize lecture 15:30-18:00, 5F Hall, South School Building**

**懇親会 18:15-20:30 南校舎4Fザ・カフェテリア / Banquet 18:15-20:30, The Cafeteria, 4F, South School Building**

**11月29日 (日) / November 29 (Sun)**

**テーマ・セッション (前半) 9:15-10:45 南校舎6F教室 / Theme Session 9:15-10:45, 6F, South School Building**

番号/教室 No./ Room	時間 Hour	セッション題目 Title	発表者(所属) Authors (Affiliation)
TS 1 / 465教室	9:15-10:45	オニヒトデの大量発生	岡地 賢(コーラルクエスト), 金城 孝一(沖縄衛環研), 中富 伸幸(創価大院・工), 安田 仁奈(宮崎大), 熊谷 直喜(環境研)
TS 2 / 466教室	9:15-10:45	小島嶼国(環礁国)の国土保全策とその適用	茅根 創(東京大), 山口 徹(慶應大), 古川 恵太(OPRI-SPF), 三村 悟(JICA)
TS 3 / 467教室	9:15-10:45	海水による炭素循環の一端を担うサンゴ礁のストレス: 大気二酸化炭素下で弱い塩基の海水の本性を異分野との連携から解明	窪田 薫(東大大海洋研), 横川 太一(JAMSTEC), 池田 元美(北大地球環境), 企画者・座長: 市川和彦(北大)

**休憩 10:45-11:00 / Break 10:45-11:00**

**テーマ・セッション (後半) 11:00-12:30 南校舎6F教室 / Theme Sessions 11:00-12:30, 6F, South School Building**

TS 4 / 465教室	11:00-12:30	サンゴの種苗生産と植え付け	鈴木 豪(西海区水研), 大森 信(東京海洋大), 綿貫 啓(アルファ水工)
TS 5 / 466教室	11:00-12:30	サンゴ礁研究・温故知新: パラオ熱帯生物研究所の学際性に学ぶ	佐藤 崇範(琉大・IIOS), 宮崎 勝己(京大瀬戸臨海), 林 公義(日大生資科・北里海生科), 坂野 徹(日大)
TS 6 / 467教室	11:00-12:30	Ocean acidification beyond tank experiment: What we can learn from the field.	Agostini, Sylvain(下田臨海), 栗原 晴子(琉大理), 木元 克典(JAMSTEC), 仲岡 雅裕(北大厚岸), 和田 茂樹(筑波大SMRC)

**昼休み 12:30-13:30 / Lunch Break 12:30-13:30**

**公開シンポジウム 13:30-16:30 (開場12:30) 南校舎5Fホール / Symposium 13:30-16:30, 5F Hall of South School Building**

サンゴ、〈野生の科学〉と出遭う	13:30-16:30	ゲストスピーカー: 中沢 新一氏(明治大), ゲストフォトグラファー: 中村 征夫氏(Squall) パネリスト: 鈴木 款(静大)・茅根 創(東大)・柳谷 牧子(環境省) 司会: 山口 徹(慶應大)・深山 直子(東経大)
-----------------	-------------	--



11月28日 (土) / November 28 (Sat)

ポスター発表 / Poster presentation

ポスター番号が奇数の発表は11月28日 (土) 9:00-11:00、偶数の発表は11月28日 (土) 11:00-13:00です。ポスターは11月28日9:00~11月29日12:00まで掲示できます。若手優秀ポスター賞へエントリーされている発表には「※」が付いています。若手優秀ポスター賞にエントリーされた方で、ご希望の方にはスピードトークの機会を提供します。詳細は、この要旨集のP.2をご覧ください。

ポスターNo.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P 1	褐虫藻の突然変異によるサンゴ-褐虫藻共生体の環境適応の可能性を探る試み	Widiastuti Karim(琉球大・院理工), ○日高道雄(琉球大・理)
P 2※	<i>Pectinia</i> sp. の高温ストレス応答: 体内レクチン量及び褐虫藻密度の変化	○松田 知紗(三重大・院生物資源), 吉松 隆夫(三重大・院生物資源)
P 3※	異なる褐虫藻によりサンゴの白化感受性は変化する	○岸本 真理子(名古屋大学大学院 理学・生命理学専攻, 基礎生物学研究所), 得津 隆太郎(基礎生物学研究所), 相原 悠介(基礎生物学研究所), 加藤 弘樹(基礎生物学研究所), 菊池 彩花(基礎生物学研究所), 皆川純(基礎生物学研究所), 高橋 俊一(基礎生物学研究所)
P 4※	白化が褐虫藻の新規獲得を促進する	○菊池 彩花(総研大・基礎生物学研究所), 高橋 俊一(総研大・基礎生物学研究所), 大久保 奈弥(東経大・経済), 皆川 純(総研大・基礎生物学研究所)
P 5	サイクリック電子伝達の活性化による褐虫藻の高温ストレス応答	○相原悠介(基礎生物学研究所・環境光), 高橋俊一(基礎生物学研究所・環境光), 皆川純(基礎生物学研究所・環境光)
P 6※	高水温下における垂直伝播型稚サンゴの生残と褐虫藻組成の変化	○中辻 裕(琉球大院・理工), 依藤 実樹子(琉球大・熱生研), Frederic Sinniger(琉球大・熱生研), 波利井 佐紀(琉球大・熱生研)
P 7※	サンゴ虫体内に共生する微生物の遺伝子解析	○金 宗鉉(静大院 理学研究科 生物科学専攻), 鈴木 利幸(静大 戦略的環境リーダー育成拠点), Beatriz E. CASARETO(静大 戦略的環境リーダー育成拠点, 静大 創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム専攻), 鈴木 款(静大院 理学研究科 生物科学専攻, 静大 戦略的環境リーダー育成拠点), 藤原 健智(静大院 理学研究科 生物科学専攻, 静大 創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム専攻)
P 8	メタゲノム解析を用いた石西礁湖における捕食者-被捕食者間のバクテリア感染と微生物群集の変化の解析	○鈴木 利幸(静岡大・創造科学), Beatriz E. CASARETO(静岡大・創造科学, 静岡大・グリーン研), 藤原 秀一(いであ株式会社), 鈴木 款(静岡大・創造科学)
P 9※	塊状ハマサンゴ表面にみられる魚類齧り痕と共生藻 光合成活性との関係性	○池内 絵里(琉球大・理), 中村 崇(琉球大・理, JST/JICA SATREPS)
P 10※	サンゴの光環境適応	○加藤 弘樹(総研大・基生研), Frederic Sinniger(琉球大・熱帯生物センター) 波利井 佐紀(琉球大・熱帯生物センター), 得津 隆太郎(総研大・基生研), 皆川 純(総研大・基生研), 酒井 一彦(琉球大・熱帯生物センター), 高橋 俊一(総研大・基生研)
P 11	$\mu$ CT を用いたミドリイシ放射個体の計測の試み	○山本 広美(美ら島研究センター), 宇山 聖奈(上智大学大学院 理工学研究科), 渡邊 怜(上智大学大学院 理工学研究科), 上村 拓也(上智大学大学院 理工学研究科), 磯村 尚子(国立沖縄高専), 政木 清孝(国立沖縄高専), 久森 紀之(上智大学 理工学部)
P 12※	伊豆半島に生息する <i>Porites heronensis</i> の水温変化に対する生理的応答	○山崎 航(筑波大学下田臨海実験センター), Sylvain Agostini(筑波大学下田臨海実験センター)
P 13※	パラオ内湾に生息するサンゴによる海洋酸性化/温暖化に対する適応的応答の評価	○津木 あさみ(琉球大・理工), 栗原 晴子(琉球大・理), 三村 泉美(琉球大・理), Yimnang Golbuu(Palau International Coral Reef Center)
P 14	塩分濃度の差とサンゴの質量に関する研究	○西山 愛理(玉川学園・高等部), ○三橋 水樹香(玉川学園・高等部), ○南 春佳(玉川学園・高等部), ○寺島 海(玉川学園・高等部)
P 15※	蛍光色素Calceinによるサンゴ初期ポリプの石灰化イメージング	○大野 良和(琉球大・院理), 井上 麻夕里(岡山大・院理), 新里 宙也(OIST・マリンゲノミクスユニット), 鈴木 淳(産総研・地質情報)・中村 崇(琉球大・院理・JST/JICA SATREPS)
P 16※	2種類のミドリイシサンゴの動原体指標を用いた染色体解析	○田上 恵里香(高知大・院・医科学), 田口 尚弘(高知大・院・黒潮・海洋健康医科学), 久保田 賢(高知大・院・黒潮・海洋健康医科学), 目崎 拓真(黒潮生物研), 富永 明(高知大・院・医科学, 高知大・院・黒潮・海洋健康医科学)
P 17	クシハダミドリイシの染色体分析	○田辺 秀之(総合研究大学院大学・先導科学), 目崎 拓真(黒潮生物研究所), 中地 シュウ(黒潮生物研究所), 服田 昌之(お茶の水女子大学・理・生物)
P 18	バリカメノコキクメイシの分子細胞遺伝学的研究	○田口 尚弘(高知大・院・黒潮・海洋健康医科学), 久保田 賢(高知大・院・黒潮・海洋健康医科学), 目崎 拓真(黒潮生物研), 田上 恵里香(高知大・院・医科学), 関田 諭子(高知大・院・黒潮・生物構造機能), 奥田 一雄(高知大・院・黒潮・生物構造機能), 富永 明(高知大・院・黒潮・海洋健康医科学, 高知大・院・医科学)
P 19※	サンゴゲノムに存在する糖質加水分解酵素のタンパク質・遺伝子レベルでの機能解析	○善岡 祐輝(沖縄高専・生物資源), 佐久本 太一(沖縄高専・生物資源), 田邊俊朗(沖縄高専・生物資源), 井口 亮(沖縄高専・生物資源)
P 20※	<i>Acropora tenuis</i> の産卵に伴って変動する物質の探索	○長島 洋紀(北里大・海洋), 神保 充(北里大・海洋), 鈴木 豪(水研セ西海水研), 山下 洋(水研セ西海水研), 安本 剛(北里大・海洋), 竜部 終五(北里大・海洋)
P 21	巨大シコロサンゴ <i>Pavona decussata</i> の放卵放精の観察	○目崎 拓真(黒潮研), 大野 慶人(NHK), 佐野 美月(竜串ダイビングセンター), 喜多村 鷹也(愛媛大院・生命科), 中地 シュウ(黒潮研)
P 22※	温帯域に生息するミドリイシ属サンゴの低精子濃度における受精率への影響	○高橋慎一(宮崎大学・院農), 磯村尚子(沖縄高専・生物資源), 深見 裕伸(宮崎大学・海洋生物)
P 23	交雑するミドリイシ属サンゴの産卵同調性と配偶子形成の地域比較	○日根 弓太郎(琉球大・理工学), 守田 昌哉(琉球大・熱生研・瀬底)
P 24	雑種の繁殖特性の違いによる種分化と交配隔離の両立の可能性	○磯村 尚子(沖縄高専・生物資源), 岩尾 研二(阿嘉島臨海), 守田 昌哉(琉球大・熱生研), 深見 裕伸(宮崎大・農・環境生物)
P 25※	アオサンゴ隠蔽種2種における産卵期推定~同じ海域で同時に産卵しているのか?	○谷中 純真(宮大・農), 波利井 佐紀(琉大・瀬底), 香川 浩彦(宮大・農), 上野 光弘(石西礁湖サンゴ礁調査), 北野 裕子(宮大・TT機構), 斎藤 佑太(宮大・農), 安田 仁奈(宮大・TT機構)

ポスターNo.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P 26※	石西礁湖周辺海域におけるアオサンゴ2種の遺伝構造の比較	○齊藤 佑太(宮大・海洋), 長井 敏(水セ・中央), 瀧岡 和夫(東工大・情報理工), 波利井 佐紀(琉球大・熱生研), 上野 光弘(石西礁湖サンゴ礁調査), 北野裕子(宮大・海洋), 安田仁奈(宮大・海洋)
P 27※	八重山におけるハナヤサイサンゴ属の分布	○北野 裕子(宮崎大・TT), 上野 光弘(石西礁湖サンゴ調査), 長井 敏(水研セ・中央水研), 安田 仁奈(宮崎大・TT)
P 28※	石西礁湖周辺海域における着底稚サンゴの種組成と遺伝子型分布	○野口 七海(宮崎大・農), 北野 裕子(宮崎大・TT機構), 上野光弘(石西礁湖サンゴ礁調査), 鈴木豪(西海区水研), 長井敏(中央水研), 安田仁奈(宮崎大・TT機構)
P 29※	沖縄県阿嘉島のクサビライシ科サンゴの種多様性調査と <i>Fungia fungites</i> に関する新たな知見	○奥 裕太郎(宮崎大・院農), 岩尾 研二(阿嘉島臨海研究所), 深見 裕伸(宮崎大・院農)
P 30※	黒潮流域におけるクシハダミドリイシおよびナンヨウミドリイシの遺伝子流動解析	○中林 朗(宮大・農), 井口 亮(沖縄工専・生物資源), 北野裕子(宮大・TT機構), 上野光弘(石西礁湖サンゴ礁調査), 長井 敏(水産セ・中央水研), 安田仁奈(宮大・TT機構)
P 31※	北限集団の遺伝的多様性は低いか～熱帯性生物の事例～	○小島 まり(沖縄高専・生物資源), 善岡祐輝(沖縄高専・生物資源), 藤田 喜久(沖縄芸大), 佐藤琢 (水研セ瀬水研百島), 井口 亮(沖縄高専・生物資源)
P 32※	奄美大島龍郷湾より見出されたセンベイサンゴ群落	○藤井 琢磨(鹿児島大・島嶼研), 興 克樹(奄美海生研), 立川浩之(千葉県博分館海博), 深見裕伸(宮崎大・農)
P 33	伊良部島周辺のサンゴ生育状況調査2014 (速報)	○中野義勝(琉球大・熱生研瀬底研究施設), 藤田喜久(沖縄県立芸術大学)
P 34	Palau's coral communities at risk	○Takashi Nakamura (Univ. Ryukyus, JST/JICA SATREPS), Yeong Shyan Yuen(Univ. Ryukyus, JST/JICA SATREPS), Marine Gouezo(Palau International Coral Reef Center), Yimnang Golbuu(Palau International Coral Reef Center)
P 35	A checklist of benthic cnidarians from coral communities in Thailand	○Thamasak Yeemin(Univ. Bangkok), Niphon Pongsuwan(Department of Marine and Coastal Resources, Bangkok), Thanongsak ChanmethaKul(Phuket Rajabhat Univ.), Sahabhob Dokkaew(Kasetsart Univ.), Makamas Sutthacheep(Univ. Bangkok), Watchara Samsuvan(Univ. Bangkok), Sittiporn Pongsakun(Univ. Bangkok), Juthamart Putthayakool (Univ. Bangkok), Montaphat Thummasan(Univ. Bangkok)
P 36	Composition and density of juvenile corals in Mu Ko Angthong, a Ramsar site in Thailand	○Juthamart Putthayakool (Ramkhamhaeng Univ.), Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.), Chainarong Ruangthong (Dept. National Parks Wildlife and Conservation, Thailand), Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.), Watchara Samsuvan (Ramkhamhaeng Univ.), Sittiporn Pongsakun (Ramkhamhaeng Univ.), Wanlaya Klinthong (Ramkhamhaeng Univ.), Charenmee Chamchoy (Ramkhamhaeng Univ.)
P 37	Status of coral diseases on massive <i>Porites</i> in Thai waters	○ Watchara Samsuvan (Ramkhamhaeng Univ.), Makamas Sutthacheep, Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.), Sittiporn Pongsakun Wanlaya Klinthong (Ramkhamhaeng Univ.), Wichin Suebpala (Ramkhamhaeng Univ.)
P 38	Extinction risk assessment of scleractinian corals at regional level: a case study in Thai waters	○Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.), Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.), Watchara Samsuvan (Ramkhamhaeng Univ.), Sittiporn Pongsakun (Ramkhamhaeng Univ.)
P 39	Distribution and population density of the sea urchin ( <i>Diadema setosum</i> ) on coral communities in Thai waters	○Kanwara Sangmanee (Ramkhamhaeng Univ.), Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.), Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.), Wichin Suebpala (Ramkhamhaeng Univ.), Watchara Samsuvan (Ramkhamhaeng Univ.), Monthaphat Thummasan (Ramkhamhaeng Univ.)
P 40	Population density of the crown-of-thorns starfish in the Andaman Sea	○Montaphat Thummasan (Ramkhamhaeng Univ.), Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.), Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.), Watchara Samsuvan (Ramkhamhaeng Univ.), Kanwara Sangmanee (Ramkhamhaeng Univ.), Juthamart Putthayakool (Ramkhamhaeng Univ.)
P 41	フィリピン・ネグロス島南東部沿岸におけるオニヒトデ個体群の近年における変動	○瀬尾 友樹(近畿大), 村西 優太(近畿大・院, 近畿大), 中尾 晃大(近畿大), 浅沼良甫(近畿大), 須齊 正也(近畿大), 谷室 充史(近畿大), 池尻 晃介(近畿大), 仲野康子(近畿大), 小山 香奈(近畿大), ジン・タナンゴナン(近畿大)
P 42	石垣島沿岸域におけるオニヒトデ浮遊期幼生の出現と海洋環境	○福岡 弘紀(水研セ西水研亜熱帯), 鈴木 豪(水研セ西水研亜熱帯), 山下 洋(水研セ西水研亜熱帯), 亀田 卓彦(水研セ西水研亜熱帯), 藤倉 佑治(水研セ西水研亜熱帯), 渡邊 敦(東工大)
P 43※	オニヒトデ幼生の水平分布～石西礁湖のどこにいる？～	○小島 萌々香(宮崎大・農), 長井 敏(水研セ・中央), 鈴木 豪(水研セ・西海区), 福岡 弘紀(水研セ・西海区), 亀田 卓彦(水研セ・西海区), 中村 隆志(東工大・情報理工), 渡邊 敦(東工大・情報理工), 瀧岡 和夫(東工大・情報理工), 北沢 駿介(東工大・情報理工), Lawrence Patrick C. Bernardo(東工大・情報理工), 池原 浩太(いであ・沖縄), 安田 仁奈 (宮崎大・TT)
P 44※	石西礁湖におけるオニヒトデ発生予測のための低次生態系モデルの開発	○天野 慎也(東工大), 中村 隆志(東工大), 渡邊 敦(東工大), Lawrence Patrick C. BERNARDO(東工大), Ratino SITH(東工大), 福岡 弘紀(水研セ西海水研), 鈴木 豪(水研セ西海水研), 瀧岡 和夫(東工大)
P 45	Seasonality and lunar periodicity in the sexual reproduction of the coral-killing sponge, <i>Terpios hoshinota</i>	○Yoko Nozawa(Biodiversity Research Center) Yu-Sin Huang(Biodiversity Research Center), Euichi Hirose(Univ. the Ryukyus)
P 46※	要旨未提出 (Redescriptions of the Commercially Important Sea Cucumber from the Genus <i>Apostichopus</i> Liao, 1980 ( <i>Holothuroidea: Stichopodidae</i> ))	○Woo Sau Pinn (北大)
P 47※	ヤドリスナギンチャク-イソメの系統学的研究	○喜瀬 浩輝(琉球大・院理工), James Davis REIMER(琉球大・理)
P 48	タイドプール魚類群集: 生物量と体サイズの緯度勾配パターン	○新垣 誠司(九州大・天草臨海), 渡慶次 睦範(九州大・天草臨海)
P 49	発表辞退	○CASARETO, Beatriz Estela (静岡大)
P 50	島嶼-石西礁湖-外洋間における栄養塩・有機物動態～特に大規模水道部に着目して	○渡邊敦(東工大), 中村隆志(東工大), 北沢駿介(東工大), Lawrence Bernardo(東工大), 鈴木豪(水研セ・西海水研), 福岡弘紀(水研セ・西海水研), 亀田卓彦(水研セ・西海水研), 藤倉佑治(水研セ・西海水研), 本郷悠貴(水研セ・中央水研), 安田仁奈(宮崎大), 北野裕子(宮崎大), 向草世香(東工大), Ratino Sith(東工大), 瀧戸健太郎(東工大), 江川遼平(東工大), 田野倉佑介(東工大), 安藤航(東工大), 竹内傑(東工大), 天野慎也(東工大), 長井敏(水研セ・中央水研), 宮島利宏(東京大), 瀧岡和夫(東京大)

ポスターNo.	発表題目 Title	発表者(所属) Authors (Affiliation)
P 51	石垣島浦底湾における海洋環境の季節変動	○亀田 卓彦(西海水研亜熱帯セ), 山下 洋(西海水研亜熱帯セ), 福岡 弘紀(西海水研亜熱帯セ), 鈴木 豪(西海水研亜熱帯セ)
P 52	瀬底島周辺海域における栄養塩の分布	○藤村 弘行(琉球大・理), 中野 義勝(琉球大・熱生研), 須田 彰一郎(琉球大・理), 五十嵐 雅明(琉球大・院・理工), 中村 将平(琉球大・院・理工), 伊藤 通浩(早大・ナノ・ライフ), 竹山 春子(早稲田大・先進理工)
P 53※	サンゴ礁域におけるPOMの有機物組成の特徴づけ	○葛西 里美(創価大・院工), 中富 伸幸(創価大・院工), 山本 修一(創価大・院工)
P 54※	光合成・石灰化による瀬底島サンゴ礁の炭素生産量測定	○中村 将平(琉球大・院・理工), 藤村 弘行(琉球大・理), 中野 義勝(琉球大・熱生研), 中井 達郎(国士館大), Beatriz Casareto(静岡大・院・創造科学技術), 鈴木 款(静岡大・院・創造科学技術)
P 55※	亜熱帯性海草藻場の有機炭素蓄積特性	○棚谷 灯子(国研 港湾空港技術研究所), 渡辺 謙太(国研 港湾空港技術研究所), 山本 将史(東京大・地惑), 本郷 宙軌(琉球大・理), 茅根 創(東京大・地惑), 桑江 朝比呂(国研 港湾空港技術研究所)
P 56※	リン酸塩はサンゴ礁にとって脅威か?	○飯島 真理子(北里大・海洋), 安元 剛(北里大・海洋), 神保 充(北里大・海洋), 渡部 終五(北里大・海洋), 廣瀬美奈(トロピカルテクノプラス), 安元 純(琉球大・農)
P 57※	与論島におけるサンゴ礁生態系インパクトに関する硫黄安定同位体比研究	○大谷 侑也(京大院アジア・アフリカ研), 中西 康博(東農大国際食料情報)
P 58	ツバル フォンガファレ島のサンゴ年輪に見られる混入物質の分析	○中村 修子(慶應大・理工, 東京大・地球惑星), 荻原 成騎(東京大・地球惑星), 茅根 創(東京大・地球惑星), 山野 博哉(国立環境研・生物生態系環境研究センター)
P 59	台湾緑島の造礁性サンゴ骨格の地球科学的手法を用いた古環境復元-酸素同位体比古水温計の確立-	○池田 昌隆(北大・高等教育), 渡邊 剛(北大・院理), Chuan-Chou Shen(National Taiwan Univ.)
P 60	南大東島炭酸塩岩石のストロンチウム同位体年代	○玉城 蛭(琉球大・院理), 大出 茂(琉球大・院理)
P 61※	ビーチロック形成メカニズム(1) - 間隙水の日周変化 -	○洪永勳(東京大・理), 山木克則(鹿島技術研究所), 山本将史(東京大・理), 井手陽一(海洋プランニング), 茅根創(東京大・理)
P 62	ビーチロック形成メカニズム(2) - 膠結物質の微細構造と生物相 -	○山木克則(鹿島技術研究所), 洪 永勳(東京大・理), 山本将史(東京大・理), 大葉英雄(静岡大), 茅根 創(東京大・理)
P 63※	WorldView-2画像を用いたテクスチャ及びスペクトル解析によるサンゴ礁域の海底被覆分類と水深推定	○瀧戸 健太郎(東工大・理工), 中村 隆志(東工大・情報理工), 灘岡 和夫(東工大・情報理工)
P 64	マルチコプター画像とモバイル端末を利用したマンタ法によるハビタットマップ作成手法	○井手 陽一(海洋プランニング), 樹下 弥奈(海洋プランニング), 林 文(国立環境研究所), 山野 博哉(国立環境研究所), 洪 永勳(東京大学・理), 茅根 創(東京大学・理)
P 65	サンゴ礁研究におけるボール・カメラを用いた低高度空中写真撮影活用の可能性	○中井 達郎(国士館大学・立教大学)
P 66	ハンディマルチ蛍光撮影装置の開発	○古島 靖夫(海洋研究開発機構), 丸山 正(海洋研究開発機構), 滋野 修一(海洋研究開発機構), Sylvain Agostini(筑波大・下田臨海実験センター), 鈴木 貞男(O. R. E.)
P 67※	ワイパー式メモリー水中カメラを使用したサンゴ産卵・病気進行の観察	○具志 美香子(沖縄高専 生物資源工学科), 井口 亮(沖縄高専 生物資源工学科), 山城 秀之(琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設), 竹内 一郎(愛媛大学 農学部)
P 68	長期インターバルカメラを用いた移植サンゴの生残・成長解析	○塚本拓人((株)エコー)・山本秀一((株)エコー)・安藤 亘((一社)水産土木建設技術センター)・石岡 昇((一社)水産土木建設技術センター)・内田 智(水産庁)・中村浩介(水産庁)・鯉淵幸生(東京大学)
P 69	サンゴ幼生の収集・保持・着生装置の開発	○岡田 亘((株)エコー), 安武 陽子((株)エコー), 鈴木 豪(水研セ・西海区), 林原 毅(水研セ・西海区), 安藤 亘(水産土木技術センター), 内田 智(水産庁), 中村 浩介(水産庁)
P 70	沖ノ島島におけるサンゴの面的移植とその経過報告	○片山 悦治郎(国際航業(株)), 米澤泰雄(国際航業(株)), 小松俊晶(国際航業(株)), 安藤亘((一社)水産土木建設技術センター), 内田智(水産庁), 中村浩介(水産庁)
P 71	移築した大型サンゴの生物蝸集効果について	前里 尚(沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所), 椎原 康友(沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所), ○岩村 俊平((株)エコー 沖縄環境部), 片山 理恵((株)エコー 沖縄環境部), 高橋 由浩((株)エコー 沖縄環境部), 大城 哲((株)沖縄環境分析センター), 岩橋 浩輔((株)沖縄環境分析センター)
P 72	微弱電流による造礁サンゴの成長促進効果の検証	○山本 悟(日本防蝕工業(株)), 木原一禎(エムエムブリッジ(株))・細川恭史(エムエムブリッジ(株)), 鯉淵幸生(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 近藤康文(株シービーファーム), 山本秀一(株エコー)
P 73※	造礁サンゴ由来人工骨の創製と生体活性骨機能の評価	○宇山 聖奈(上智大院・理工), 久森 紀之(上智大・理工), 山本 広美(沖縄美ら島財団), 磯村 尚子(沖縄高専), 政木 清孝(沖縄高専)
P 74※	宮古島・カヤツファビーチにおける遊泳負荷スマートコントロール実証検証	○施 明カイ(北大・環境科学院), 澤田 恵梨子(北大・環境科学院), 猪澤 海(エコガイドカフェ), 猪澤 也寸志(エコガイドカフェ), 藤井 賢彦(北大・環境科学院)
<b>保全活動ポスター発表</b>		
P 75	八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展を通じたネットワークづくり	○鈴木 智子(WWFジャパン), 上村 真仁(WWFジャパン)
P 76	リーフチェック串本 15年(2000~2014)の調査活動記録	○リーフチェック串本チーム
P 77	慶良間諸島におけるコーラルネットを用いたサンゴ保全活動	○宮城 清(座間味ダイビング協会), 山木克則(鹿島技術研究所), 日野林讓二(大日本プラスチック), 中野裕治(タキロンプロテック), 中村良太(水産土木建設技術センター)



<b>自由集会概要 11月27日（金） 18:45-20:45</b>
<b>自由集会① 若手研究者最前線</b>
会場：南校舎7F 473教室
オーガナイザー： 中村隆志（東工大）、藤井琢磨（鹿大）、湯山育子（遺伝研）
サンゴやサンゴ礁の研究もしくは、サンゴやその周辺領域を題材として研究しているアクティブな若手の研究者を数名招いて各分野の最先端の手法や最新の知見をご講演頂くとともに、若手間の交流を深め、新たな研究の可能性について議論する。
<b>自由集会② 蛍光撮影技術を生かした海洋生物イメージングとモニタリング-III</b>
会場：南校舎7F 475教室
オーガナイザー： 古島靖夫・丸山正（海洋研究開発機構）、篠野雅彦（海上技術安全研究所）、鈴木貞男（O.R.E）
昨年に引き続き、サンゴ（海洋生物）蛍光の現場撮影技術と多岐にわたる海洋生物研究とがどのように融合できるのか、不足している技術・調査は何か、等について分野横断型の議論が出来る場を設けその可能性を探ることを目的とする。
<b>自由集会③ サンゴ礁におけるフィールドワークの活性化と安全確保の両立のために（調査安全委員会主催）</b>
会場：南校舎7F 476教室
オーガナイザー： 中井達郎
サンゴ礁に関する活動では、研究の場面でも、教育普及の場面でも、また保全活動の場面でも野外での活動は欠かすことができない。一方で、海を中心とする野外の活動では、さまざまなリスクを伴う。安全を確保しつつ、野外での活動をより盛んにしていくためにはどのようにしたら良いのか、研究者、教育普及関係者、大学、NGOなどさまざまな立場の方々の意見交換を行い、方向性を考える。
<b>テーマセッション概要 11月29日（日） 前半：9:15-10:45, 後半：11:00-12:30</b>
<b>TS1 オニヒトデの大量発生</b>
前半：9:15 -10:45 南校舎7F 465教室
オーガナイザー： 岡地賢（コーラルクエスト）
発表者：金城孝一（沖縄衛環研）、中富伸幸（創価大院・工）、岡地賢（コーラルクエスト）、安田仁奈（宮崎大）、熊谷直喜（環境研）
沖縄県のサンゴ礁ではなぜオニヒトデが繰り返し大量発生するのか？これまでの研究から知られていたおもな発生要因をさらに追求し、大量発生を予察あるいは防除する抜本的な対策へとつなげることを目的に、沖縄県が平成24年度から実施している「オニヒトデ総合対策事業」の調査研究の進捗状況を報告します。
<b>TS2 小島嶼国（環礁国）の国土保全策とその適用</b>
前半：9:15 -10:45 南校舎7F 466教室
オーガナイザー： 茅根創（東京大）
発表者：茅根創（東京大）、山口徹（慶應大）、三村悟（JICA）、古川恵太（OPRI-SPF）
環礁からなる小島嶼国は海面上昇など地球環境変化に対する脆弱性が高い。しかし現在小島嶼国で起こっている問題はサンゴ礁生態系の破壊などローカルな要因が主であり、将来進むことが予想されている地生態学的レジリエンスを弱めている。本セッションは、地生態学的適応策を、伝統的な維持システムと適合せ、支援や仕送りによって維持されている島嶼国の経済と政策に組み込むための方策を議論する。
<b>TS3 海水による炭素循環の一端を担うサンゴ礁のストレス：大気二酸化炭素下で弱い塩基の海水の本性は異分野との連携から解明</b>
前半：9:15 -10:45 南校舎7F 467教室
オーガナイザー： 市川和彦（北大）
発表者：横川太一（JAMSTEC）、窪田薫（東大地球海洋研）、池田元美（北大地球環境）
大気二酸化炭素下で弱い塩基海水は地球規模に地質時間尺度で何故存在しうるのか。炭素循環の一端を担っているサンゴ礁は石灰の飽和状態なのか。生物多様性を保つサンゴ礁は物理・化学・生物の各ルールに対応している。サンゴ礁エコシステムは、フィールドリサーチが契機となって生物学・地学・化学間の連携によって研究される。サンゴ礁による炭素物質変換は、温度・圧力一定下で大気二酸化炭素分圧・海水pHの増減によって正負の影響を受ける。異分野間連携による海水の本性の把握なくしてはサンゴ礁エコシステムの究明は困難であろう。
<b>TS4 サンゴの種苗生産と植え付け</b>
後半：11:00-12:30 南校舎7F 465教室
オーガナイザー： 大森信（東京海洋大）
発表者：鈴木豪（西海区水研）、大森信（東京海洋大）、綿貫啓（アルファ水工） 参画者：大森信（東京海洋大）、山本秀一（株エコ）、綿貫啓（アルファ水工）、林原毅（水研セ・西海区）、鈴木豪（水研セ・西海区）
本企画では、サンゴに関する多様な専門家を招いて、産卵から着生までの初期生態、種苗生産の技術開発、修復現場での植え付けに関わる経験や戦略などについて、それぞれ話題提供をお願いし、さらには褐虫藻や遺伝子解析からの知見、研究者とは異なる視点のアクアリストからの提言も交えて、サンゴ修復・再生に役立つ知識と情報の共有を目指します。
<b>TS5 サンゴ礁研究・温故知新：パラオ熱帯生物研究所の学際性に学ぶ</b>
後半：11:00-12:30 南校舎7F 466教室
オーガナイザー： 佐藤崇範（琉大・IIOS）
発表者：佐藤崇範（琉大・IIOS）、坂野徹（日大）、宮崎勝己（京大瀬戸臨海）、林公義（日大生資科・北里海生科）
本セッションでは、パラオ熱帯生物研究所に派遣された研究者たちが、その後、各々の研究分野の発展にどのように貢献したのか、研究所設立の背景と併せて多分野の研究者にご発表いただき、サンゴ礁研究の学際性について議論を深める。さらに、日本のサンゴ礁研究の歴史にとって重要な位置を占めるパラオ熱帯生物研究所に関する情報・資料の収集と、その成果を確実に継承していくための維持・管理についても意見交換を行いたい。
<b>TS6 Ocean acidification beyond tank experiment : What we can learn from the field.</b>
後半：11:00-12:30 南校舎7F 467教室
オーガナイザー： Agostini, Sylvain（下田臨海）・栗原晴子（琉大理）
発表者：Agostini, Sylvain（下田臨海）、栗原晴子（琉大理）、仲岡雅裕（北大厚岸）、和田茂樹（筑波大SMRC）、木元克典（JAMSTEC）
「海洋酸性化」をテーマに、これまでの単一生物種を用いた操作型室内実験を越えて、野外における炭酸化学環境観測や野外操作実験、CO2湧出海域や高CO2環境における生態系レベルでの酸性化影響評価、さらには新たな酸性化影響評価手法等、最新の知見を紹介する。本セッションには企画者兩名に加え、3名の招待講演者、仲岡雅裕氏（北海道大学）、和田茂樹氏（筑波大学）、木元克典氏（JAMSTEC）を迎え、新たな酸性化研究の方向性についての議論を目的とする。
<b>公開シンポジウム概要 11月29日（日） 13:30-16:30（開場12:30） 南校舎 5Fホール</b>
<b>公開シンポジウム 『サンゴ、&lt;野生の科学&gt;と出遭う』</b>
主催： 日本サンゴ礁学会 後援：慶應義塾大学
ゲストスピーカー：中沢新一氏（明治大学）・ゲストフォトグラファー：中村征夫氏（Squall）
パネリスト：茅根創（東京大）、鈴木欸（静岡大）、柳谷牧子（環境省） 司会：山口徹（慶應大）、深山直子（東経大）